

# 朝鮮半島と東アジアに平和を！

## 安倍政権の朝鮮半島政策を問う

10月14日（土）午後1時半～

●講師：渡辺健樹さん

（日韓民衆連帯全国ネットワーク共同代表）



●報告／不戦ネットメンバーによる訪朝報告

●場 所／日本特殊陶業市民会館 第1会議室

地下鉄・JR・名鉄「金山駅」下車 徒歩3分

●参加費／800円

70年代末ごろから韓国民主化運動・統一運動との連帯運動、在日韓国人「政治犯」救援などに関わる。現在、日韓民衆連帯全国ネットワーク共同代表。

朝鮮半島情勢の緊張が続いています。朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）は、核実験やICBMなどの発射実験を繰り返し、日米韓は、韓国へのサードの配備、史上最大の米韓共同演習や、日米共同演習などを行っています。アメリカのトランプ大統領は、「北朝鮮が愚かな行為をすれば、軍事的に解決する手段は今完全に整っている」と軍事的な手段も言及しています。

一方、安倍政権はこの事態に対し、北朝鮮への「圧力の強化」のみを言い続け、過剰な反応をしています。急ぎょPAC3を配備したり、8月29日のミサイル発射に対してもJアラートを使用するなどしました。また、この「危機」を最大限利用して、迎撃ミサイルを搭載するイージス艦の陸上版「イージス・アショア」（1基800億円）の配備を決め、2018年度の防衛費予算を過去最高の5兆2551億円も要求するなど、軍拡の道に進もうとしています。安保法制（戦争法）が成立をしたいま、朝鮮半島で戦争になれば、その発動の危険もあります。自民党の国防部会では「敵基地攻撃能力保有」まで言われています。

そもそも朝鮮半島は、朝鮮戦争がまだ完全に終わっていない「停戦」状態です。毎年、大規模な米韓合同軍事演習を繰り返し、北朝鮮に強い圧力をかけ続けてきたのはアメリカです。北朝鮮が核実験やミサイル実験をやめるとともに、アメリカもまた軍事演習を中止すべきです。そして、日本政府はいたずらに危機を煽るのではなく、敵視政策をやめ軍拡や戦争政策に舵を切るのではなく、平和的な解決に向け努力をすべきです。二度と朝鮮戦争の悲劇を繰り返さないよう、私たちができることを考えます。ぜひ、ご参加ください。

主催：不戦へのネットワーク

連絡先：名古屋市那古野1-44-17 嶋田ビル203

◆ 電話：052-881-3573 ◆ Email：[husen@jca.apc.org](mailto:husen@jca.apc.org)

<http://www.jca.apc.org/~husen/>